

2025年3月18日

報道関係者各位

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社

## ボイラ燃料制御最適化システム「ULTY-V plus AT」 掘場製作所が開発中の灰中未燃分計との連携制御により燃料削減を更に向上

出光興産と日本郵船グループが出資する郵船出光グリーンソリューションズ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:梅原慎史)は、ボイラ燃料制御最適化システム「ULTY-V plus AT」(アルティ ヴィ プラス エイティ-エー)の研究開発を推進しているが、このたび株式会社掘場製作所(本社:京都市南区、代表取締役社長:足立正之)が開発中の「灰中未燃分計」との連携試験を石原産業株式会社の火力発電設備で実施、未燃損失を削減するとともに制御性と燃料削減率を向上させることに成功した。

この制御技術はボイラの未燃損失をリアルタイムに計測してボイラ燃料制御最適化システム「ULTY-V plus AT」へ取り込み、ボイラの無駄時間<sup>※</sup>を「ULTY-V plus AT」内部でAI学習することで実現したものであり、世界初の技術である。  
また、昨今カーボンニュートラルの推進が進む中、多様化する燃料に対応する機能を有する。

「灰中未燃分計」は既に150基の実績を有する「ULTY-V シリーズ」の導入先にも追加設置が可能であり、今後は協業体制を構築して本製品とのセット販売を視野に入れ拡販を目指す。

「ULTY-V plus AT」とは、AI(人工知能)を組み込んだ学習機能により最適な運転へ導くことでボイラ効率を向上させ、燃料使用量の削減による経済性向上とCO<sub>2</sub>排出量の低減に貢献する装置。

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社は、最先端のAI制御テクノロジーやバイオマス燃料にも対応した効率的な燃焼技術を開発し、持続可能な社会の実現に今後も取り組んでいく。

※:無駄時間とは、燃料投入量(操作量)変化から主蒸気圧力(制御対象量)変化までの時間を示し遅れ時間とも表現される。

-お問い合わせ-

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社

<https://nyk-idemitsu-gs.co.jp/contact/>